

NEW

浮流星

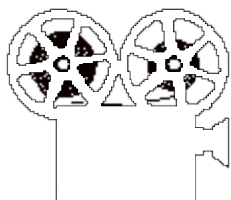
第6号

発行:2004.11.7
編集:SUNAK FILM
発行 MAKER

SUNAK FILM MAKER

Eメール:planet-sunak@csc.ne.jp

“SUNAK Art Film FESTEIVAL vol.5”



実験映画への誘いー映像レヴォリュションー

2004年11月7日SUN なかのZERO 14:15&17:00

『真冬の飯映画・飯実験映画展ー黒川芳朱』

Bプログラム 特集2 Start 17:40 ~ 18:45

黒川芳朱プロフィール



1954年生まれ。創形美術学校、イメージフォーラム付属研究所卒業。70年代後半より美術の一環として映像を手がけ、81年映像作家としてデビュー。美術、パフォーマンス、映像を横断し境界を曖昧にしながら活動を展開。身体気象研究所、アートセッション句一朱、光学劇場、などの運動に参加。現在、音楽と映像のコラボレーショングループ「視聴覚実験室 ORIGINAL SUND TRACK」を結成しパフォーマンスを展開中。さまざまな表現により視覚の言語性を破壊し発生的な場の成立を目指す。「白州夏フェスティバル」、「ダンス白州」、去年から今年にかけて行われた「ブラッケージ・アイズ2003-2004」などに実行委員として参加し企画・運営に当たる。主な作品『セルロイドの砂漠』（81年）『目のガリバー旅行記』（81年）『日刻』（89）『砂の本』（96）『静物映画集』（01）『緩衝地帯』（03）など。

『静物映画集2004』 15分 2004年 16mm

サイレント動きを再現するために作られた映画というメディアで、動かない物体を撮る。映画のイリュージョンを放棄したとき、カメラと物体はどのような対話を始めるか。

『イコノクラスムNo. 1』 12分 1999年 16mm

サウンド見えないものも見えるものとして描けるという視覚芸術の思い上がり。見えるものの背後にある見えないものへの想像力こそが問われている。



イコノクラスムNo. 1

『体積熱』 22分 2004年 16ミリ サイレント

被写体は砂の粒子、その堆積。この空虚で豊饒な空間と私の身体が織り成す関係線の軌跡。

『子午線の感情』 5分 2004年 ビデオ サウンド

この映画の映像と音は融合するわけでも互いに補完しあうわけでもない。二つはただすれ違い、その摩擦の中にこの映画のすべてがある。

Aプログラム

『フリーキーシー2 ～アートフィルムのその先～』 14:15～14:50

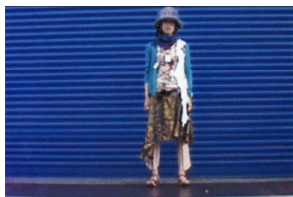
アートフィルムって何なの？ その魅力って？アートフィルムの現在を探究してゆく新しい試みの上映プログラムです。第2弾の今回はSAFFが独自に考えるアートフィルムの未来像のさらにその先に迫ってみたいと思います。さあ一緒に観てみませんか？他では観れない映像作品をお届けします。どうぞごゆっくりご鑑賞下さい。

執行 真生 Shigyo Masaki 東京都杉並区 27歳 2000年に駒沢大学文学部を卒業すると共に、バンタン芸術学院インディペンデントムービーコースを卒業する。同年7月、渡米してL.A.New york Film Academyに入学。在学期間中"Symphony For Night Snails vol.1-Death-"がドイツハノーヴァー映画祭の招待を受ける。卒業作品の"Alice & Pip"はユニバーサルスタジオにて上映。2004年1月渋谷PLUGにて、エクスペリメンタルバンド"Blues ACE"との共同制作によるDVD発売記念イベントを開催。2004年5月S.A.F.F. vol.4で「忘れられた創生児ノ為ニ」と題し、特集上映する。Studio O'clock 代表。 ※ミュージック・クリップから実験映画へ、実験映画からミュージック・クリップへと、揺さぶりをかけていきたいと思います。そもそも、そういった線引きはいつから発生したのでしょうか。表現方法の違いはあれど、もともと実験映像を分ける境界線などなかったと思います。



[暗黙の鳥居] mini DV 8分10秒 サウンド

無意識の象徴である"Black Box"を介して、意識と意識下は交錯する。Blues Aceとの共同製作による第5弾は初の物語もの。「どの視点から物語を観るか。」それがこの作品のテーマです。



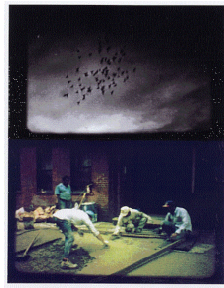
芝西 茂 Shibinishi Shigeru 東京都渋谷区 アートユニット [国語ピアノ] の代表として、映像その他プロデュースしています。

[マチミヤ] miniDV 6分53秒 サウンド：人として人と違う位置にいる人の話。

諏訪 望 Suwa Nozomu 東京都世田谷区 34歳 1970年愛知県生れ 1996年米国ニューヨークのスクール・

オブ・ヴィジュアルアーツ映画科卒業。2001年帰国まで、ニューヨークを拠点として活動、多数のギャラリーで作品を発表する。1997年～2004年：「Four Walls Slide and Film Club」フォーウォールズ・ギャラリー（ニューヨーク）、2003年「Personal Focus 2003」リールアウト映写室（福岡）※他の作家と交流を図りたいと思い出展しました。

[Side walk and Flock] 6分 16mm：ニューヨーク、イーストビレッジの歩道とブルックリンの空。ノーカット無編集の2ロールをつなぎ合せた作品。



石垣 友子 Ishigaki Tomoko 東京都世田谷区 26歳 北海道奈井江町出身 大学在学中のサークルを通して、映像製作に触れ、卒業後8mmを使って個人による制作を始める。8mmは札幌まるば会館で吉雄孝紀氏が開いていた、おけいこ教室で数ヶ月学ぶ。※現在イメージフォーラムに学び独自の映像表現を模索中。実験的な手法のもや、イメージの雰囲気や物語なもののや、いろいろ作りたいと思っています。沢山の作り手と知り合いたいのので、今回も良い機会になったらと思っています。

[a shadow] 8mm 5分 サイレント：1つ1つの画の中の光と闇、そしてカットとカット、あるいはコマとコマの持つ光と闇が、視覚に与える刺激によってできる残像楽しむための作品です。画をみるというよりは、画と黒（あるいは光と闇）のコントラストを楽しんだり、それらが明滅するときに発する刺激を視覚全体で受けとってもらえると楽しいんじゃないかと思っています。

砂川 達夫 Sunakawa Tastuo 東京都渋谷区 6歳よりフィルム派を貫き、また、ハイテクよりローテクのアナログ人生を自分のスタイルとするエンジニアで、ドキュメンタリー写真を撮影するのがライフワーク。

[傷の有る映画] 8ミリ 4分58秒 サウンド：この作品は、フィルムに傷を付けたごとく加工したものに见せているが、実は撮影してから相当長い時間（10数年）をかけてフィルムを劣化させてから現像した。

そして、時の流れに任せたナチュラルな風化を表現したものである。何が映っているか、よく観ないと分からない、観客はいやでもスクリーンに集中せざるを得ない。

特集1 Start 14:55～ 15:50

『滝口浩史作品集ーアニメーション・映像 2000～2004年』

滝口浩史プロフィール

1977年 静岡に生まれる 1997年 東京芸術大学デザイン科入学 2000年 ニューヨーク大学映画学科にて "Summer Session" の短期留学 2001年 東京芸術大学デザイン科卒業 2001年 (株) グループ現代主催、『Gallivant』上映企画公募「Short!Short!」にて、アニメーション作品「風にゆられて」が大賞受賞 2001年 映像公募『電腦登竜門』にてアニメーション作品「風にゆられて」と「Another World」が入選 2003年 個展『滝口浩史展(絵画・写真・映像)』(These/西麻布) 2003年 SUNAK FILM GUILD主催『Art Film Festival Vol.2』にてアニメーション作品「風にゆられて」が招待上映 2003年 『トーキョーワンダーウォール公募2003』にて絵画作品「I Hope・・・」が入選 (東京現代美術館) 2003年 『滝口浩史/金子朋樹 二人展』(Espasio/静岡) 2004年 『PICTURE～PAINTING』展(滝口浩史/岡部忍) (PROMO-ARTE/青山) 2004年 Canon写真公募「写真新世紀」にて荒木経惟の優秀賞を受賞 同年12月「写真新世紀」に展示(東京都写真美術館)

[Crime And Punishment] 15分 16mm

この作品は、2000年度にニューヨーク大学フィルム学科にて、夏季の短期留学した際に制作した短編映画です。作品は、ドストエフスキーの『罪と罰』をモチーフとして、3つの短編映画を1つにまとめた作品で、3つそれぞれ別々に制作していったため、登場人物が変わってしまったり、短い時間で制作し初めてのフィルム制作のため、露出やスピードが変化したりと、制作上の問題を多く含んでいます。自分の表現したいモチーフやテーマを映像という表現手段で制作することが出来た初めての作品として、自分にとっての処女作と考えています。

①「In The Room」5分 物語のきっかけとなる室内の中での殺人シーンです。残虐な殺人というシーンを、人物の恐怖の表情を一切映像として出さずに、虫の視点のように、残虐性を淡々と行われた出来事の1つとして表現したかった。

②「Crime And Punishment」7分 殺人を犯した後の男の物語です。人を殺してしまった男につきまとう恐怖によって男は苦しみます。そして、道端で一人の女性と出会います。ある偶然の出会いによって救われるという、その存在の出現の掛け橋を、「1輪の花」というモチーフで表現しました。



③「Circle」3分 殺人を犯した男に出会う女性の物語です。男を救う存在として現れた女性。病弱なその女性は、自分の誕生日の日に、友人の女性からプレゼントを受け取ります。その中に、花の種があり、その女性は芽が出るのを楽しみに待っています。そして、突然の友人の殺害。男の存在を知らない女性は、道端で倒れている男性に1輪の花を上げます。偶然と必然という神秘をこの物語の中に表現し、また問いかけや謎を残したいと考えました。



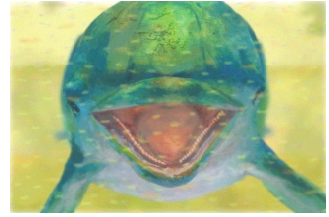
[風にゆられて] 5分 アニメーション 2001年この作品は、(株)グループ現代主催『Gallivant』上映企画の映像公募にて、大賞を頂いた作品です。「旅」というテーマで制作し、私たちが決して見ることの出来ない忘れてしまった赤ちゃんの頃の夢を、風が運んでくれる旅の夢としてアニメーション表現しました。また、アニメーションとしての旅でもあり、線画や文様といった様々なアニメーション表現としても試みた作品でもあります。

[道] 10分 ビデオ・写真アニメーション 2002年この作品は正直申しますと、自分の中で映像表現が止まってしまった作品であります。祖母のドキュメンタリーとして、「人生」をテーマとして作品を作りましたが、まだそのテーマで作品を作り上げるには自分の人生の経験が足りず、納得のいく作品になりませんでした。その中のシーンで、写真を使ったアニメーション映像は、とても興味深いシーンにすることが出来たので、実験映像として上映したいと思います。映像は、実際の祖母の若い頃の写真をベースに、川や湖といった現実の映像を混ぜ、昔の写真を現実の映像のように蘇らせることが出来たと思います。

(4) 2004.11.7

[Another World] 12分 アニメーション 2001~2004年

この作品は、大学の卒業制作をきっかけとして作った作品で、全部で30分近くなる長編のアニメーション作品です。内容は、実際私が何度も夢で見た子供達がモチーフで、現実とは違うもう一つの世界に、子供達と動物たちが話をしたり出来る世界を作り上げたいと考えました。そこに1人の青年が迷い込み、そして体験しあることに気づいていくというテーマで、この作品を作っています。ゆったりとした時間と幻想的な空間をアニメーションで表現し、やさしく包み込むような世界を体験していただければと思います。



Bプログラム

高水聡一郎ワールド 6 17:00~17:35

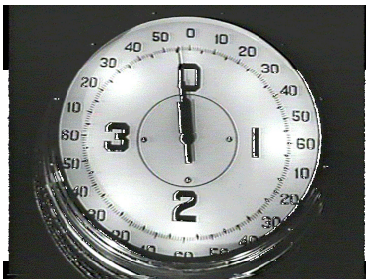
『スーパースターシステムスクリーニング superstar systems screening』

実験映画のフィルム・プロダクト7選。誰かが言った言葉だけれど、シネマトグラフは運動を研究するために考案されて、やがて世界最大のスペクタクルになった。さらにいろんな夢をつくり出した。スクリーンは人に鏡を提供するためのものだったけど、やがてあるスターを差し出したって、差し出したかどうかは別としても、スターはそれなりのものだと思う。実験映画はかつてあったし、じゃあ、今はどうかって言ったら、どうなんだろう？ だからこそ、そんな今、みんなで実験映画の手入れをしよう。高水聡一郎のプロフィール76年東京生まれ。95年より独学で映像制作を始める。01年に非営利的なシネグループSUNAK FILM GUILD (S.F.G.)の設立に参加(現ディレクター)。SAFFの上映プログラム編成担当。

[カセット cassette] 5分 VHS サウンドフューチャー・オブ・実験映画。次なる実験映画をどう思う!? テーマは女優。**[テープ tape] 5分 VHS** サウンド実験映画チャレンジ計画。ガマンしてガマンしてみんなの表現力を試してみよう!

[一時 ittoki] 5分 VHS サウンド時から時へ移り行く実験映画の過去を見つめる。

[フィルミックスpekタール filmicspectator] 5分 16ミリ サウンドヒストリー・オブ・実験映画。存亡の危機にある実験映画の今についての映画。



[ビデオテープ videotape] 5分 16ミリ サウンドドリーミング・実験映画。実験映画といかに奮闘してゆくかこれからの実験映画を思考しよう。

[スクラッチフィルム A scratchilm A] 3分 8ミリ
サウンド [スクラッチフィルム B scratchilm B] 3分 8ミリ サウンド :ともすれば見過しがちなここでしか観れないスクラッチフィルム。どうぞご家族そろってお楽しみ下さい。

SUNAK星人 SOS SOS!

世界中でテロの嵐が荒れ狂っている!特に9月のロシアの学校でのテロは、どう理由があっても、許されるものではない。映画「アルジェの戦い」は、現在のアルジェリア民主人民共和国の対仏独立運動をドキュメンタリータッチで描いた作品だ。仏軍に対する凄まじいテロ行為は一般民衆をも巻き込んだ。仏軍はこれを力で鎮圧するが、数年後、武力によらない無抵抗の独立運動が自然発生的に展開され、無抵抗の恐怖に在フランス系の住民の多くは、アルジェから出国した。そして、1962年フランスは独立を認めた。

「神の声」という指導者(扇動者)の言葉は、時として、普通の人間を狂気に変える。「神の名において」「神からの授かりし者」「神のもとへ」全てが神々の言葉として争いが起きる。「神」につくのが「正義」だ!人はそれぞれの正義において戦う。手塚治虫の「アドルフに告ぐ」は実に見事に「正義」を表している作品だ。「神の正義、悪の正義」ちょっと間違えれば、とんでもないことになる。そして、「ネオ ファウスト」の未完が惜しまれる。

無意味な戦いがなくなることを願いながら、ボクは暫らく地球を離れ、B612小惑星に帰ることにした。

SUNAK星人

SUNAK FILM GUILD

<http://www.sunakfilm.org>

e-mail:info@artfilm.jp